



## 「石けん」と「合成洗剤」はどうちがうの

### 天然油脂から作る石けん

動物や植物からとる油脂を、天然油脂といいます。天然油脂は、動物界・植物界にたくさんあり、食用、石けん、塗料など、いろいろな物を作るのに利用されます。天然油脂から作られる石けんは、アルカリ性で、もめんや麻などの洗たくに適しています。また、わたしたちの体になじみ、使用感がよく、手や体を洗うときなどにも、よく使われます。しかし、水が硬水といわれる水質の場合は、洗う力が落ちるといった欠点があります。

### 石油などから作る合成洗剤

石けんは油脂から作りますが、油脂以外の石油などを原料として、科学的に作られる洗剤を合成洗剤といいます。合成洗剤は、水にとけやすく、しかも洗う力にすぐれ、さらに洗たく物の繊維をいためないという特長をもっているために、石けんにかわって広く使われるようになりました。しかし、合成洗剤が大量に使われるようになると、環境が汚染されたり、わたしたちの体に対する安全性に問題があることなどがわかってきました。そこで、いろいろ研究が進められた結果、今では家庭用に使われる洗剤は、環境に悪い影響をあたえにくく、しかも、わたしたちの体にも影響の少ない性質のものになりました。（監修・田代 脩）

